

主題：信者

メッセージ 46

彼らの現在——彼らの環境と周囲におけるすべての事柄が益となり、
人に対して最上の態度を取ることで、神聖な三一の分与を経験する
聖書：ローマ 8:28-29, 35-39. マタイ 5:43-44 前半. ローマ 12:14, 18

I. 信者は彼らの環境と周囲におけるすべての事柄が益となることで、神聖な三一の分与を経験します——ローマ 8:28：

A. 神は彼の主権の中で、神を愛する者、すなわち、彼に召されている者たちに、すべての事物、すべての事柄、すべての人を共に働かせて益とならせ、彼の定められた御旨を完成します——28節：

1. わたしたちは神の御子のかたちと同形化されるよう、あらかじめ定められていました。それは、彼が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。これが神の定められた御旨、彼のご計画における目的のある決定です——29節。
2. 神はわたしたちの運命を前もって定めていました。この運命は、すべての事柄をわたしたちのために共に働かせる外側の案配がなければ、成就されることはできません——28節。
3. 命における成長は内側の養いから来ますが、この養いは外側の環境の協力を必要とします——コロサイ 1:10. II ペテロ 3:18。
4. わたしたちの環境における事物、事柄、人がわたしたちに益となるかどうかは、わたしたちが神を愛するかどうかにかかっています——ローマ 8:28：
 - a. 神を愛することは、わたしたちが彼の願いを顧慮し、進んで彼と協力するようになります——コロサイ 4:12。
 - b. 神の働きはわたしたちの協力を必要とし、わたしたちが神と協力することは、わたしたちが神の目的にしたがって彼に召されていることを確証します——ピリピ 2:12-14. II テモテ 1:9。
5. 何ものも、わたしたちの主キリスト・イエスにある神の愛から、わたしたちを引き離すことはできません——ローマ 8:35-39：
 - a. ローマ第8章でパウロは、わたしたちを神の愛へと導きます——35節。
 - b. 愛は、神がわたしたちのために行なうすべての源であり、この愛は彼の心です。愛は基礎であり、愛は根であり、愛はそのすべての源です——エペソ 1:4。
 - c. 神の愛は単に神の愛そのものではなく、キリスト・イエスにある神の愛ですから、わたしたちは何ものもわたしたちをそれから引き離すことはできないと確信します——ローマ 8:39。

6. わたしたちは打ち破られるのではなく、神がわたしたちを愛してくださっているゆえに、勝ち得てあまりがあります。わたしたちは愛する方を通して、勝つだけではなく、勝つ者となることができます——37節。

B. 神の主権ある案配の下で、多くの試練、困難、患難、苦難がわたしたちに定められてきました——I テサロニケ 3:3. エペソ 3:13：

1. 苦難は神聖な命における成長と関係があります。わたしたちは苦難を受ければ受けるほど、ますます成長し、円熟するのが速くなります——I ペテロ 4:19. 5:9.
II ペテロ 1:5-7：

- a. 神聖な命におけるすべての霊的な成長は、苦難を通して遂行されます——エペソ 3:13, 4:16。
 - b. 苦難がなければ、神聖な命における成長は不可能です——コロサイ 1:24, 28-29, 2:19。
2. わたしたちは、天におけるわたしたちの御父には主権があって、すべてのことを管理し、すべてのことを定めていることを信じる必要があります、自分の前途を彼に明け渡すべきです——エペソ 1:11。
 3. わたしたちがみな学ぶ必要がある基本的な学課は、わたしたちの環境と周囲におけるすべてのことが、わたしたちにはなく主権ある主にかかっているということです——マタイ 10:28-31 :
 - a. 彼は願うことを何でも完成します。わたしたちの運命は彼にかかっています。
 - b. わたしたちは主の御手の中にあるだけでなく、主ご自身の中にあります。彼は、わたしたちがとどまるべき場所です——ヨハネ 10:28-29, 14:20, 15:4 前半。
 - c. 日ごとにわたしたちはただ彼の分与の下にとどまって、手順を経て究極的に完成された三一の神の神聖な供給の直接の享受を持つべきです——II コリント 13:14。
- II. 信者は人に対して最上の態度を取ることで、神聖な三一の分与を経験します——マタイ 5:43-44 前半, ローマ 12:18 :**
- A. 信者が人に対して最上の態度を取ろうとするなら、自分の敵を愛すべきです——マタイ 5:43-44 前半 :
 1. 自分の敵を愛するのが難しいとわかるのは、彼らがわたしたちの存在と天然の感情に反しているからです—— 46-47 節。
 2. わたしたちが自分の敵を愛するという要求は、わたしたちが生きているのが自分自身によってであるか、それともキリストによってであるかを証明するテストです—— 48 節, ルカ 6:27, 35, ガラテヤ 2:20。
 3. 神聖な三一の分与を通して、信者は自分の敵を愛することができます——エペソ 3:16-17 前半 :
 - a. 自分の敵を愛し、わたしたちを憎む者に善を行なうためには、神・人、神に浸透された人となる必要があります——ルカ 6:27, 35。
 - b. わたしたちは神から生まれたので、確かに、神聖な愛である神の存在の性質から生まれています—— I ヨハネ 3:1, 4:9, 16。
 - c. わたしたちが人を、特に自分の敵を愛する愛は、わたしたちの父なる神の愛です—— 19 節。
 - B. わたしたちは自分を迫害する者を祝福し、彼らをのろってはなりません——ローマ 12:14 :
 1. わたしたちが召されたのは人を祝福するためであるので、祝福された人として、常に人を祝福し、祝福を受け継ぐようになるべきです—— I ペテロ 3:9。
 2. わたしたちを迫害する者を祝福し、彼らをのろわないようにしようとするなら、手順を経て究極的に完成された三一の神の分与を通して、彼で浸透される必要があります—— II コリント 13:14, エペソ 3:16-17 前半。
 - C. わたしたちに関する限り、わたしたちはすべての人と平和に生活すべきです——ローマ 12:18。